



特定非営利活動法人 環境防災研究機構北海道

# 令和4年度 活動報告 (案)



# 目次

## I 環境保全と防災に関わる社会教育事業

- 伊達市防災アドバイザー 主担当：宇井忠英 2

## II 環境保全と防災に関わる普及啓発事業

- 洞爺湖有珠山ジオパーク推進支援 主担当：畑吉晃 4

## III 環境保全と防災に関わる国・自治体・企業・ライフライン・報道機関等と住民との連携調整事業

- 鶴川・沙流川流域タイムライン検討 主担当：元起宏江 6
- 常呂川下流ほかタイムライン検討 主担当：加村邦茂 7
- 美唄市コミュニティタイムライン検討 主担当：元起宏江 8
- 標津川水害タイムライン検討支援 主担当：加村邦茂 9
- タイムライン防災・北海道ネットワーク運営支援 主担当：伊藤晋 10

【凡例】 ■受託事業 ■自主事業

# Ⅰ 環境保全と防災に関わる 社会教育事業

# 伊達市防災アドバイザー

## 事業概要

市民防災講座はコロナ禍のため延期となった昨年度分を9月に今年度分を1月に実施した。また大滝区の住民を対象とした防災講演会を行った。新人職員を対象とした防災特別研修は半日の座学と1日の野外研修を行った。市民向け及び有珠火山防災協議会向けの有珠山現地研修は例年通り1日間行った。広報だての防災コラムに2回寄稿した。

### ●市民防災講座の演題

2022.9.8 新たに配布された有珠火山防災マップと伊達市洪水ハザードマップ

2023.1.25 新しく配布された津波ハザードマップ

### ●伊達市大滝区防災講演会の演題

2022.10.19 自然災害に備える—大滝区ではどう対応するか—

### ●広報だて防災コラムの題目

2022年9月号 新しく配布された津波ハザードマップ

2023年3月号 スマホを活用しよう



職員研修開催を伝えた地元新聞

【協働機関】 伊達市、CeMI

【担当者】 宇井忠英(主担当)

[継続19年目]

## II 環境保全と防災に関わる 普及啓発事業

# 洞爺湖有珠山ジオパーク推進支援

## 事業概要

ユネスコ事業である洞爺湖有珠山ジオパークの活動を推進するため、CeMI 北海道の職員が洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会の事務局員として出向し、ジオパーク活動の支援を行っている。昨年、一昨年同様、コロナ感染対策を施しながら、地域の減災リーダーを認定する火山マイスター制度の運営や非接触で密を避けるイベントとしてスマートフォンを使った謎解きラリーの実施など柔軟に活動支援を行った。また、例年通り、火山マイスターの活動支援として減災教育現場への講師派遣、親子有珠山登山会等の各種事業、案内板や解説看板、広報物などのデータ制作、ホームページ・各種 SNS の運営・管理などを行った。



・第 1

- 4 回目となる洞爺湖有珠火山マイスター認定  
審査では 8 名が合格（合計 65 名）
- ・NHK、HBC 等の密着取材も行われた。

### 洞爺湖有珠火山マイスター制度



- ・参加者 405 名
- ・目標地点到達者（誘客数）886 名（のべ人数）

### スマホ de 謎解きラリー



- ・コロナ過により 3 年ぶりの開催。想定を大きく  
上回る 70 名が参加。

### 親子有珠山登山会



### 各種版下データ作成・HP 大幅リニューアル

## 技術的特徴・工夫点

昨年同様、新型コロナウイルス感染予防対策をしっかりと施しながら各種イベント・事業を行ったが、本年は行動規制の緩和に伴い、特に野外で行う事業には沢山の参加があった。引き続きアフターコロナを見据えた人々の新しい価値観に沿う企画・運営を行っていきたい。

【協働機関】 洞爺湖有珠山ジオパーク推進協議会

【担当者】 畑吉晃(主担当)、伊藤晋

[継続 11 年目]

### Ⅲ 環境保全と防災に関わる

国・自治体・企業・ライフライン・  
報道機関等と住民との連携調整事業

# 鷓川・沙流川流域タイムライン検討

## 事業概要

過年度に策定された鷓川(むかわ町)・沙流川(平取町、日高町)の両自治体タイムラインについて、実用的な運用に向けた取り組みと方策の検討を行う2か年業務。2年目となる今年は、大雨等による風水害のおそれが見込まれる際に気象や河川の情報を実効的に情報収集するポータルサイトとなる「情報共有サイト」を鷓川・沙流川それぞれで構築した。タイムライン参画機関はこのサイトを通して同じ情報をリアルタイムで共有し連携して防災対応を行う。また、鷓川・沙流川の自治体防災担当者とのワーキングを実施。タイムラインを運用する上で曖昧だった事務局会議開催の手順や情報共有ツールの使い分け等について、ルール・方針を明確化した。



「情報共有サイト」画面のイメージ(沙流川)



自治体ワーキングの様子(3町合同)



自治体ワーキングの様子(各町個別)

## 技術的特徴・工夫点

- 情報共有サイトの試行とアンケートによる意見聴取：構築した情報共有サイトを出水期に試行運用し、出水期明けに試行結果について各関係機関へアンケートによる意見聴取を行った。出された意見をもとに、対応が可能な部分において機能改善を行い、利便性の向上を図った。
- 運用ルール等をマニュアルに追記：自治体ワーキングで合意決定されたタイムライン運用時のルールや方針について参画機関共通の資料である運用マニュアルに追記し共有した。

【協働機関】 北海道開発局室蘭開発建設部・むかわ町・平取町・日高町・CeMI

【担当者】 元起宏江(主担当)、加村邦茂(管理技術者)、広田達郎、伊藤晋 [継続8年目]

# 常呂川下流ほかタイムライン検討

## 事業概要

2018年度から一級河川常呂川下流地区である北見市常呂自治区を対象として関係機関・団体等が連携した水害タイムラインの検討を開始している。2022年度はタイムライン運用に関する各種検討を行った。関係機関・団体が連携したタイムラインに関しては、出水期の試行運用に向けたオンライン訓練、避難情報の改善に伴うタイムライン内容の修正協議を行った。また、網走管内全体を対象とした圏域タイムラインの素案を作成した。地域住民が具体的な防災行動をとるためのコミュニティタイムライン策定に関する取り組みは常呂町末広・南町地区を対象に住民ワークショップを1回開催した。



第10回検討会（オンライン訓練）



第10回検討会（現場対応者の退避確認）



第11回検討会



CTL作成のための住民ワークショップ

## 技術的特徴・工夫点

■Web会議と現地行動を併用したタイムライン訓練：前年度から引き続き、Web会議を利用した図上訓練では、訓練用の情報共有サイトを別途設置し、このサイトを訓練の進行と連動させて更新することで雨量や水位等の状況付与を行った。また、今回はコミュニティタイムラインを作成済みの地区住民や消防団等も現地行動の確認をするためにリアルタイムでの訓練進行とした。

■網走圏域タイムラインの検討：昨年度まで流域タイムラインの検討を進めていたが、網走管内には多くの河川があり、河川管理者や気象官署の行動が分かりにくくなる可能性があることから網走圏域全体の広域防災機関の行動を整理した圏域タイムラインの素案を作成した。

【協働機関】 北海道開発局網走開発建設部・北見市・CeMI-建設コンサルJV

【担当者】 加村邦茂(主担当)、比嘉哲也

[継続5年目]

# 美唄市コミュニティタイムライン検討

## 事業概要

大雨や台風等により災害の恐れが予想される場合において、地域住民が安全な避難のために自発的に行動ができるよう、必要な防災行動を整理した「水害コミュニティタイムライン」を作成するための検討業務。今年度は共練みどり町内自主防災会、暁東町内会自主防災会、一心第1西町内自主防災会、中央団地町内会自主防災会の4地区の役員の方々を対象に、地域の状況を確認する事前ヒアリングおよび、各地域2回の作成ワークショップを行い、コミュニティタイムライン表を作成した。完成したコミュニティタイムライン表は地域の住民に配布され、安全に確実な避難をするために「いつ・何をするか」を確認するためのツールとして活用される。



事前ヒアリングの様子



ワークショップの様子

コミュニティタイムライン表完成例(おもて面)

コミュニティタイムライン表完成例(うら面)

## 技術的特徴・工夫点

- キキクルの活用：中央団地町内会自主防災会は美唄新川(中小河川)に隣接し、美唄川の洪水に警戒するとともに美唄新川の急激な水位上昇による内水氾濫に注意する必要があるため、注意喚起や避難準備等の情報伝達を行うタイミングにキキクルの情報を活用することとした。
- 補足資料の作成：作成されたコミュニティタイムライン表について、各地域の役員の方が住民へ説明しやすいように、情報伝達の流れ等をわかりやすく示した補足資料を別途作成した。

【協働機関】 美唄市

【担当者】 元起宏江(主担当)、伊藤晋、阪本秀代

[継続3年目]



# 標津川水害タイムライン検討支援

## 事業概要

北海道根室振興局管内を流れる二級河川標津川を対象とした風水害時の防災対応を整理したタイムラインを策定するにあたり、北海道釧路建設管理部から検討業務を受託した建設コンサルタント企業へ技術助言・支援を行った。本地域において、地域特性等を勘案した上で、これまでに蓄積された知見からタイムラインを検討する上でのポイントや整理すべき事項・情報、検討会の進め方等に関する技術情報を提供するとともに、検討会に同席し、運営について補助・助言した。



検討会の様子



タイムライン内容の詳細確認

## 技術的特徴・工夫点

タイムラインの取り組みが広く全国に展開されつつあるが、タイムラインの検討にあたっては取り組みに関わるステークスホルダー間の対話と合意形成が非常に重要であるが、そのための議論の進め方や資料提供に関するノウハウは建設コンサルタント企業に蓄積されているとは言いがたい。本事業のように企画段階や運営時の助言を行い、タイムラインの取り組み支援を行える民間企業を増やしていくことは、CeMI によるタイムラインへの新たな取り組みの1つの形としてありうると考えられる。

**【協働機関】** 北海道・標津町・建設コンサル

**【担当者】** 加村邦茂(主担当)

# タイムライン防災・北海道ネットワーク運営支援

## 事業概要

北海道内でタイムライン防災を推進している 14 市町村が集まり、2019 年度に発足した「タイムライン防災・北海道ネットワーク」の共同事務局として運営を支援している。

発足以来、感染症蔓延防止のため対面会合ができなかったが、2022 年度にはじめて参画自治体の担当者が一堂に集い対面会合を行った。当機構では、2 月に東京で行われた「タイムライン防災・カンファレンス 2022 in 東京」の実施報告と 8 月洪水における今金町でのタイムライン運用の報告を担当した。

タイムライン防災・北海道ネットワーク 令和 4 年度実務担当者研修会

【日 時】 令和 5 年 3 月 17 日（金）15:00～

【場 所】 ホテル三浦華園ライラックホール（滝川市）

【参加機関】 《会場》厚真町・今金町・標茶町・標津町・平取町・南富良野町・滝川市  
松尾東大客員教授・北海道開発局(本局)・札幌管区気象台  
北海道(総務部・建設部)・CeMI

《オンライン》北見市・月形町・むかわ町・日高町

北海道開発局(本局・札幌・函館・旭川・室蘭・釧路・帯広・網走・留萌)  
北海道(空知・胆振・日高・上川・渡島・宗谷)

その他非参画自治体 13 団体

【内 容】 開会挨拶 滝川市長

関係機関紹介

情報提供

- |                       |                  |
|-----------------------|------------------|
| ・ R4 出水期を振り返って        | 札幌管区気象台          |
| ・ R4 出水概要及び流域タイムライン   | 北海道開発局           |
| ・ TL 防災カンファレンス開催報告    | CeMI             |
| ・ R4.8 水害の今金町 TL 取組状況 | 今金町・今金河川事務所・CeMI |

会員からの近況報告

基調講演「TL をより実効的な防災計画とするために」 松尾 東大客員教授

閉会

【協働機関】 CeMI 自主事業

【担 当 者】 伊藤晋(主担当)

[継続 3 年目]